

練馬光が丘病院運営連絡協議会議事録

日 時：平成28年3月29日（火）15時00分～16時20分

場 所：練馬光が丘病院 地下1階大会議室

出席者：区民代表…金重公募委員、古賀公募委員、高橋公募委員、小林公募委員

区議会議員…上野議員、島田議員、宮原議員

医療関係者…市川練馬区歯科医師会会長、白戸練馬区医師会副会長

学識経験者…上野練馬区社会福祉協議会会長、今井田園調布学園大学准教授

区職員…新山地域医療担当部長、清水地域医療課課長

練馬光が丘病院…川上管理者、光定副管理者、亀谷事務部長

オブザーバー…

【練馬区】岡村地域医療課係長、上田地域医療課主任、高橋地域医療課員

【練馬光が丘病院】藤岡副院長、薬真寺看護部長、高瀬事務次長、山口総務課長、渡部医療情報課長兼地域連携相談センター課長、鎧塚医事課長補佐、小森地域連携相談センター係長

1. 開会

2. 管理者挨拶

3. 運営状況について

①利用状況、重点医療について

【内容説明】

- ・別紙資料1～7参照（鎧塚医事課長補佐）
- ・別紙資料8参照（上田練馬区地域医療課主任）

②地域活動

【内容説明】

- ・別紙資料9参照（小森地域医療相談センター係長）

【質疑応答（資料1～7）】

- ◆島田委員 小児と周産期以外はほぼ満床というお話しでしたが、病床稼働率が80%程度なのは、周産期・小児の関係なののでしょうか、それとも満床とそうでない時の差があるということなののでしょうか？
- ◆川上管理者 周産期については、もう少し対応が可能な状況であり、もう少し利用して頂けるとありがたいと思っています。近隣の先生方とはかなり連携が取れている状況であり、患者様に選んで頂ける病院になるように努めていきたい。小児科については、光が丘全体の高齢化や移行当時に日本大学が慢性疾患患者様を引き取ってくださり転院した方もおられた。また、感染症の状況などによっても患者数が大きく変化するためキャパシティの検討が必要かもしれない。医師の数については、満床でも加算がとれるだけの人数が整っている。

- ◆島田委員 順天堂大学は稼働率が高い状況であるが、光が丘もこれから上がっていくのか？
- ◆光定副管理者 小児科病棟46床で構造上大部屋が多く、感染症が1名いた場合にも6人部屋を使用することもあり平均で30床、産婦人科病棟は20床で平均10床がデッドスペースとなっており、残りの成人病棟がほぼ満床となっている。
- ◆川上病院長 練馬区内の患者様が区外に入院されている状況があり、一般的に設備の良い所が選ばれる傾向にある中、当院ではお陰様で患者数は増加傾向にある。また、次年度については、専門性のアピールしご理解頂き、近隣の御施設からご紹介頂けるようにしていくことで患者様は増えていくと考えています。
- ◆島田委員 ホームページ上の運営協議会資料データの3月分が反映していないため、3月分を反映して頂きたい。
- ◆川上病院長 早速訂正させていただきます。
- ◆白戸委員 紹介・逆紹介の10月分が上がっている理由はシステム導入とのことでしたがどういことでしょうか？また入院稼働率が高いのは関係しているのでしょうか？
- ◆光定副管理者 病院全体として逆紹介を推進したことやシステム導入により正確にカウントできるようになったためです。
- ◆白戸委員 10月分の入院稼働率が非常に高く、この場合病院が回らないと思われるのですが、稼働率目標はどれくらいなのでしょう？
- ◆川上管理者 小児科・周産期の問題を含め事実上の満床となりますが、病院の運営上は85%を目標としております。
- ◆白戸委員 急性期病院としては、それぐらいかと思えますし、あと2～3年で到達するかと思えますが、次の問題としては、平均在院日数の12日を出来る限り10日に近づける事かと思えます。
- ◆川上管理者 ご指摘の通りです。
- ◆古賀委員 院外処方箋の発行枚数の全処方箋枚数に対する割合はどのくらいですか？また、看護師の離職防止・再就職についてどのように対応していますか？7対1の状況はどうですか？
- ◆川上管理者 院外処方については、原則100%となっています。例外的にやむを得ず院内のものもあります。看護については、コミュニケーションを良くすることで改善の傾向となっています。
- ◆鑑塚医事課長補佐 日中については100%院外処方となっていますが、夜間救急については、院内処方次第で次の日中に受診できるまでの投与となっています。
- ◆葉真寺看護部長 コミュニケーションを良くするため、看護師長との連携強化及び主任制を導入し情報がスムーズに集まるようになっている。また、可能な限り意向調査をしながら部署移動を行っている。退職者の補充を随時行い7対1維持については問題ありません。
- ◆古賀委員 採用活動はどのように行っていますか？
- ◆葉真寺看護部長 紹介業者を利用することもあります。看護フェアや就職説明会などに本部と協力しながら採用活動を行っている。
- ◆川上管理者 それ以外にも、看護学生の実習生の受入や協会が運営している看護学校からの推薦入学者の採用のような活動も行っている。

- ◆高橋委員 今までに医療事故がなかった事が大変素晴らしい。早期黒字を目的とし無理をし、効率を求めることに走りがちであるが、稼働率をじわじわと上げて80%に持って来たことに敬意を表します。85%が良いのは分かりますが、老朽化した建物であえてそこを求めなくても良いのではないのでしょうか？現状を維持して新病院立て替えに向かって進んで頂ければと思います。
- ある医師より聞いたのですが、川上病院長が自ら紹介してくださった医師にお礼を言いに来たことに感激し、これからは川上病院長の居る病院にしか紹介しないとおっしゃっていました。
- ◆川上管理者 引き続き努力致します。来年度からは専門の医療を充実させて行きたいと思っており、東京都の重点医療が4つからCOPDが入り5つとなることから、呼吸器の強化を考えております。また、従来も心臓血管外科も開心術等をかなりやっておりましたが、常勤医師の赴任により自前での難しい手術の実施が可能になります。整形外科で手術の待ちがありました。1名増やし、泌尿器についてもニーズが高かったため常勤を2名増やし腹腔鏡の手術を行うことになっています。
- ◆宮原委員 利用状況は対前年比で約何%増加していますか？また10月に最高になった理由は何かあるのですか？
- ◆光定副管理者 10月については、成人一般、小児、産婦人科が同時に患者数の多い状況でした。
- ◆川上病院長 10月については、一般的に患者が多い傾向です。
- ◆宮原委員 紹介・逆紹介の小児科が増えているお話がありました。これは地域との連携が上手く進んでいるということでしょうか？
- ◆川上病院長 私たちはそのように理解しております。医師会の光が丘ブロック会議では、以前よりコミュニケーションが良くなったよねと先生方から言われるようになっていきました。
- ◆白戸委員 間違いなくそうだと思います。小児科の先生は紹介するケースが増えていると思います。
- ◆金重委員 小児科は季節変動が大きいとのことでしたが、他の施設もそうなのか？それに対しどのように対応しているのか？他院との連携により改善を図るということはないのでしょうか？
- ◆川上病院長 小児科については、地域性があると思います。光が丘は30年前広げられて、その頃の若い世帯が多かった時に子どもが多かったと思いますが、現在練馬区では小学校の統廃合をご検討しているようですので、子どもが減っていることは確実です。有明地域については小学校が足りないということで、医療についても増えているのではないのでしょうか。ベッドの利用率の増減は小児科の特性であり、特殊な慢性疾患を抱える病院は別ですが、一般診療を行っている所は季節性が強いです。また、当院は4床部屋が多いため、感染症のお子さんが入ってしまうと全く同じ感染症以外は同じ病室に入れられないため難しい。
- ◆白戸委員 都立大久保病院は小児科がありません。武蔵野日赤病院は3割ぐらい減少します。このように小児科は経営的なメリットはありません。練馬区が進んでいると思うのは、小児救急は医師会が6割ぐらいであり、一次救急は最も診ている。光が丘、順天堂に求める者は一次救急ではなく、入院適用患者さんの対応をして頂きたい。そ

のため、数の問題ではありません。

- ◆金重委員 産科は医療技術のみでなく病室の良し悪し等環境の問題もあると聞きます。環境を整えることはそれ程お金の掛かることではないと思うので、もし環境が原因となっているようであれば改善の方法があるのではないかと思います。
- ◆川上病院長 産科は保険医療ではなく、患者様がどこを選ぶのかは設備の好みによる所があり、費用の設定が難しく、設備を良くし高級感を出して高額にする所もありますが、我々は区民の皆様によく使用して頂けるように、近隣とほぼ同じようにしております。また、分娩室は緊急時に直ぐに対応できるように手術室と同じフロアにあります。病室については、もう少しきれいにするように努力するべきかもしれませんが、できる事としては、食事について御祝い膳などで努力をしておりますが、一層改善を図ればと思います。地域にとってどういう形が最も良いのかを今後も検討していきます。
- ◆鑑塚医事課長補佐 先程ご質問のありました外来患者数の増加ですが、前年度比2%増加となっております。

【質疑応答（資料8、9）】

- ◆川上病院長 地元でのセミナーを行わせて頂いておりますが、専門の医師も増えてきておりますので、ご要望があればご対応させていただきます。また、医師同士の連携につきましてもますます活発にさせて頂ければと思います。きらきらレターにつきましても、おいてあげるというようなお話しがあれば、ご要望のあります地域にもお配りさせていただきます。
- ◆高橋委員 きらきらレターにつきましては、毎回100部幹事会で配布しております。項目に音楽会が抜けています。高齢者が多く大変好評ですので、是非皆さんに知って頂ければと思います。
- ◆川上病院長 きらきらレターについては、皆さんから色々なご意見を言って頂き、地域連携の機関紙のような形になっていければと思っております。
- ◆島田委員 周産期連携病院の指定については病院として考えているのでしょうか？
- ◆清水地域医療課長 周産期医療は東京都の精度でして、練馬区では順天堂さんのみなのですが、ミドルリスクに対応する病院になります。24時間体制で自院のかかりつけ以外のミドルリスク妊産婦の搬送受入れを行い、地域の方が安心して分娩できる体制といった内容で、現在練馬光が丘病院でも体制の強化の検討を進めていますが、時期についてはこれからと聞いております。
- ◆川上病院長 以上で議題としては終わらせて頂きます。次回の開催については、11月下旬を予定しておりますが、制度上現行の委員の任期が9月30日までとなっておりますので、また改選ということがあるということをご承知頂ければと思います。